

		Day4	Day5	Day6	Day7
月 日		(/)	(/)	(/)	(/)
成 果 目 標		有害事象の申し出ができ、苦痛が最小限となる。 医療者に不安の表出ができる。			
点 滴					
処 置	<input type="checkbox"/> 刺入部チェック				
内 服					
検 査	<input type="checkbox"/> 末血				
呼 吸 循 環 体 温	<input type="checkbox"/> 体温、脈拍、呼吸、4検 <input type="checkbox"/> 血圧2検		<input type="checkbox"/> 血圧1検		
栄 養	制限なし。食べられる ものをすすめる。 <input type="checkbox"/> 体重測定		<input type="checkbox"/> 体重測定	<input type="checkbox"/> 体重測定	<input type="checkbox"/> 体重測定
排 泄	<input type="checkbox"/> 蓄尿		<input type="checkbox"/> 蓄尿	<input type="checkbox"/> 蓄尿	<input type="checkbox"/> 蓄尿
清 潔	制限なし。				
有 害 事 象	P				
	悪 心				
	嘔 吐				
	食 欲 不 振				
	下 痢				
	便 秘				
	脱 毛				
	発 熱				
	呼 吸 困 難				
	感 染				
し び れ 感					
倦 怠					
白 血 球 減 少					
好 中 球 減 少					
貧 血					
血 小 板 減 少					
教 育 指 導					
バ リ ア ン ス	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
サ イ ン					

		Day15	Day16	Day17	Day18	Day19	Day20	Day21	次コース開始	
月	日	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
成果目標		<input type="checkbox"/> 有害事象の申し出ができ、苦痛が最小限となる。 <input type="checkbox"/> 医療者に不安の表出ができる。 <input type="checkbox"/> 脱毛について理解でき、対処方法がわかる。 <input type="checkbox"/> コースの振り返りができ、次コースの心がまえができる。								
点	滴									
処	置									
内	服									
検	査	<input type="checkbox"/> 末血 <input type="checkbox"/> 生化 <input type="checkbox"/> 胸部X-P <input type="checkbox"/> 検尿			<input type="checkbox"/> 末血				<input type="checkbox"/> 末血 <input type="checkbox"/> 生化 <input type="checkbox"/> 胸部X-P <input type="checkbox"/> 検尿	
呼吸循環	体温	<input type="checkbox"/> 体温、脈拍、呼吸 4検 <input type="checkbox"/> 血圧1検 <input type="checkbox"/> 酸素飽和度							<input type="checkbox"/> 体温、脈拍、呼吸 4検 <input type="checkbox"/> 血圧4検 <input type="checkbox"/> 酸素飽和度	
栄	養	<input type="checkbox"/> 体重測定 制限なし	<input type="checkbox"/> WBC<2000/mm ³ になったら生ものを避けるように説明							<input type="checkbox"/> 体重測定
排	泄									
清	潔	制限なし	<input type="checkbox"/> WBC<2000/mm ³ またはPLT<2万/mm ³ になったらシャワーのみ可							
有害事象	P S									
	悪心吐									
	食欲不振									
	下痢									
	便秘									
	脱毛									
	発熱									
	呼吸困難									
	感染									
	しびれ									
倦怠感										
白血球減少										
好中球減少										
貧血										
血小板減少										
教	育	<input type="checkbox"/> 血液データに合わせて骨髄抑制時の注意点を確認する	<input type="checkbox"/> 脱毛について指導 洗髪方法、頭皮の保護、 抜け毛の処理方法			<input type="checkbox"/> 血液データに合わせて骨髄抑制時の注意点を確認する	<input type="checkbox"/> コースのふりかえり。次コースのオリエンテーション			
指	導									
バ	リ	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	
ア	ン									
ス										
サ	イ									
ン										

抗がん剤治療を受けられる												
		さまへ		治療法 シスプラチン+エトポシド		主治医：斎藤		プライマリーナース：山本瞳		県立愛知病院呼吸内科 6階病棟看護スタッフ		
月日	入院～治療前 (/ ~ /)	1日 (/)	2日 (/)	3日 (/)	4日 (/)	5日 (/)	6～8日 (/ ~ /)	9～10日 (/ ~ /)	11～16日 (/ ~ /)	17～21日 (/ ~ /)	22日 次回治療 開始予定	
治療と処置	●内服薬の確認をします いつも飲まれているお薬をナースにお見せ下さい ●アレルギー体質の方は事前にお知らせ下さい	●抗がん剤の点滴を行ないます。医師が点滴針をいれます ●抗がん剤はシスプラチンとエトポシドで、点滴は全部で9本で、約17時間かかります ●点滴は3日間が入っています	●抗がん剤はエトポシドで点滴は1本で1.5時間かかります	●抗がん剤はエトポシドで点滴は1本で1.5時間かかります ●点滴が終了したら点滴針を抜きます	●吐き気止めの薬を朝・夕食後にお持ちしますので、内服して下さい			●抗生剤のテストを医師がします				
検査	●血液、尿、腎機能 ●心電図、肺機能 ●胸のレントゲン ●動脈血採血(医師)				●血液検査		●血液、尿検査、胸のレントゲン		●この期間に血液検査があります	●この期間に血液検査があります		
食事と飲水	●食事制限はありません ●飲水量を表に記入しましょう	朝食：半分にしましょう 昼食：食べないで下さい 夕食：制限はありません	●食欲のない時は食べやすいものや水分を多く取りましょう									
排泄	●腎機能検査のために尿をすべて貯めて下さい(日時～日時) ●排便の回数、性状を注意深く観察して下さい	●1日の尿量を知るために尿をすべて貯めてください										
体重	●測定しましょう	●体重を測定しましょう										
注意点(副作用)	●下痢、便秘に注意しましょう ●治療前日に排便がないときは下剤を内服しましょう ●治療前日に入浴・洗髪をしましょう	●点滴中は安静を守りましょう ●こんな時はナースコールを押して下さい ・点滴針が入っている所が痛い ・点滴がなくなった、止まってしまった ・いつもより咳が増えた ・点滴中にトイレへ行きたいとき					●吐き気が出る場合があります。気持ち悪い時や嘔吐したときはナースにお伝えください。		●白血球と血小板の値が減少する時期です ●よく手を洗い、うがいを行なってください。 ●生ものを避けてください。 ●排便後はシャワートイレを使って下さい。 ●はさみやひげそりの使用はおやめください。			
説明	●主治医がご本人、ご家族の方へ治療についての説明をします。都合のよい日時を教えてください ●ナースが入院中の生活と抗がん剤治療についての説明をします ●腎機能検査について説明します	※外出・外泊はおやめください						脱毛が見られる方もみえます				

※入院・治療に関して心配事がありましたら、お申し出ください。

この表はおおよその経過を示したものです。種々の都合により、予定通りにできないこともありますので、あらかじめご了承下さい



登録
番号

氏名

年月日
別

患者氏名 _____

肺がんのクリニカルパス
(シスプラチンD1+エトポシドD1,D2,D3+放射線治療)
(No.06-)

実施期間 月 日～ 月 日

患者氏名 _____

病名 _____

合併症 _____

既往歴 _____

アレルギー [有 ・ 無]

主治医 _____

プライマリーナース _____

その他 _____

		day4	day5	day6	day7
月 日		(/)	(/)	(/)	(/)
成 果 目 標	有害事象の申し出ができ、苦痛が最小限となる。 医療者に不安の表出ができる。				
点 滴					
放 治	①線量/総線量(Gy)	/	/		
	②線量/総線量(Gy)	/	/		
処 置	<input type="checkbox"/> 刺入部チェック				
内 服					
検 査	<input type="checkbox"/> 末血				
呼 吸 循 環 体 温	<input type="checkbox"/> 体温、脈拍、呼吸、4検		<input type="checkbox"/> 血圧1検		
	<input type="checkbox"/> 血圧2検				
	<input type="checkbox"/> 酸素飽和度1検				
食 事	<input type="checkbox"/> 制限なし。食べられるものをすすめる。 <input type="checkbox"/> 体重測定		<input type="checkbox"/> 体重測定		<input type="checkbox"/> 体重測定
排 泄					
清 潔	<input type="checkbox"/> 制限なし。				
有 害 事 象	P 悪 心				
	S 嘔 吐				
	食 欲 不 振				
	下 痢				
	便秘				
	脱 毛				
	発 熱				
	呼 吸 困 難				
	感 染				
	し び れ				
	倦 怠 感				
	白 血 球 減 少				
好 中 球 減 少					
貧 血					
血 小 板 減 少					
食 道 炎					
皮 膚 炎					
低 酸 素 症					
教 育 指 導					
バ リ ア ン ス	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
サ イ ン					

肺がんのクリニカルパス

治療法: シスプラチン mg(80mg/m²)D1+エトポシド

mg(100mg/m²)D1,2,3+放射線治療

ID No.

身長 cm 体重 kg

患者氏名:

さま

体表面積 m²

		day8	day9	day10	day11	day12	day13	day14
月 日		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
成果目標		・有害事象の申し出ができ、苦痛が最小限となる。 ・医療者に不安の表出ができる。						
点滴								
放射線治療	①線量/総線量(Gy)	/	/	/	/	/	/	/
	②線量/総線量(Gy)	/	/	/	/	/	/	/
処置								
内服								
検査	<input type="checkbox"/> 末血 <input type="checkbox"/> 生化 <input type="checkbox"/> 胸部X-P <input type="checkbox"/> 検尿		<input type="checkbox"/> 抗生剤テスト		<input type="checkbox"/> 末血			
呼吸循環体温	<input type="checkbox"/> 体温、脈拍、呼吸4検 <input type="checkbox"/> 血圧1検 <input type="checkbox"/> 酸素飽和度1検 <input type="checkbox"/> 体重測定							
食事		<input type="checkbox"/> WBC<2000/mm ³ になったら生ものを避けるように説明						
排泄								
清潔	<input type="checkbox"/> 制限なし	<input type="checkbox"/> WBC<2000/mm ³ またはPLT<2万/mm ³ になったらシャワーのみ可						
有害事象	P S							
	悪心							
	嘔吐							
	食欲不振							
	下痢							
	便秘							
	脱毛							
	発熱							
	呼吸困難							
	感染							
	ニューロパシー感覚							
	倦怠感							
	白血球減少							
	好中球減少							
	貧血							
血小板減少								
食道炎								
皮膚炎								
低酸素症								
教育指導	<input type="checkbox"/> 血液データに合わせて骨髄抑制時の注意点を確認 <input type="checkbox"/> 食道炎について説明				<input type="checkbox"/> 血液データに合わせて骨髄抑制時の注意点を確認 <input type="checkbox"/> 肺臓炎について説明			
バリエーション	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	
サイン								

肺がんのクリニカルパス

治療法: シスプラチン mg(80mg/m²) D1+エトポシド

mg(100mg/m²) D1,2,3+放射線治療

ID No.

患者氏名:

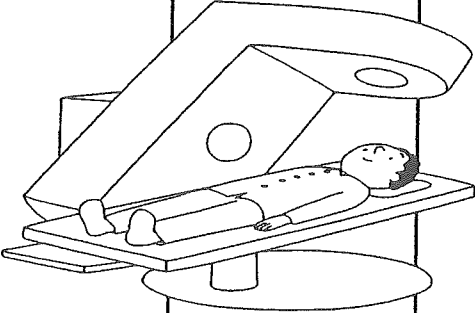
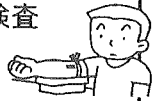

さま

身長 cm 体重 kg
体表面積 m²








月	日	day22	day23	day24	day25	day26	day27	day28	次コース開始	
成果目標		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・有害事象の申し出ができ、苦痛が最小限となる。・医療者に不安の表出が ・コースの振り返りができ、次コースの心がまえができる。 </div>								
点滴		<input type="checkbox"/> 注射薬の記入 <input type="checkbox"/> 薬局へ提出 <input type="checkbox"/> 薬剤の確認と冷所保存								
放射線治療		①総量/総線量(Gy) / / / / / / / / / / ②線量/総線量(Gy) / / / / / / / / / /								
処置										
内服		<input type="checkbox"/> 内服薬確認								
検査		<input type="checkbox"/> 末血 <input type="checkbox"/> 生化 <input type="checkbox"/> 胸部X-P <input type="checkbox"/> 検尿				<input type="checkbox"/> 末血				
呼吸循環体温		<input type="checkbox"/> 体温、脈拍、呼吸 4検 <input type="checkbox"/> 血圧1検 <input type="checkbox"/> 酸素飽和度1検								
食事		<input type="checkbox"/> 体重測定						<input type="checkbox"/> 体重測定		
排泄										
清潔		<input type="checkbox"/> 制限なし						<input type="checkbox"/> 入浴声かけ		
有害事象		P								
		S								
		悪心嘔吐								
		食欲不振								
		下痢便秘								
		脱毛発熱								
		呼吸困難								
		感染								
		しびれ倦怠感								
		白血球減少								
好中球減少										
貧血										
血小板減少										
食道炎										
皮膚炎										
低酸素症										
教育指導		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <input type="checkbox"/>コースのふりかえり。次コースのオリエンテーション </div>								
バリエーション		有	無	有	無	有	無	有	無	
サイン										

抗がん剤治療と放射線治療を受けられる												
さまへ 治療法 シスプラチン+エトポシドと放射線治療 主治医: 奥野 プライマリーナース: 稲田												
県立愛知病院呼吸器内科 6階病棟看護スタッフ												
月日	入院～治療前 /~/	1日 /	2日 /	3日 /	4日 /	5日 /	6～7日 /~/	8日 /	9日 /	10日 /		
	治療前	抗がん剤治療当日				放射線治療当日			放射線治療当日			
治療と処置	<ul style="list-style-type: none"> ●内服薬の確認をします いつも飲まれているお薬をナースにお見せください ●アレルギー体質の方は事前にお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> ●抗がん剤の点滴を行います。医師が点滴針を入れます ●抗がん剤はシスプラチンとエトポシドで点滴は全部で9本で約12時間かかります ●点滴針は3日間入っています 	<ul style="list-style-type: none"> ●抗がん剤の点滴を行います。 ●抗がん剤はエトポシドで点滴は1本で1.5時間かかります 	<ul style="list-style-type: none"> ●抗がん剤の点滴を行います。 ●抗がん剤はエトポシドで点滴は1本で1.5時間かかります 	<ul style="list-style-type: none"> ●ナースが吐き気止めをお持ちしますので、内服してください 					<ul style="list-style-type: none"> ●抗生剤のテストを医師がします 		
検査	<ul style="list-style-type: none"> ●血液、尿、腎機能 ●心電図、肺機能 ●胸のレントゲン ●動脈血採血(医師) 	<ul style="list-style-type: none"> (●血液検査) ●1日1回、酸素を指で測ります 			<ul style="list-style-type: none"> ●血液検査 			<ul style="list-style-type: none"> ●血液・尿検査 ●胸のレントゲン 				
食事と飲水	<ul style="list-style-type: none"> ●食事制限はありません ●飲水量を記入しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食: 半分にしましょう 昼食: 食べないで下さい 夕食: 制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> ●以後制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> ●食欲のないときには、食べやすいものを食べましょう 								
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ●腎機能検査のために尿を全て貯めてください 日時～日時 ●排便の回数、性状を注意深く観察して下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ●1日の尿量を知るために尿をすべて貯めてください 										
体重	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう		
注意点(副作用)	<ul style="list-style-type: none"> ●下痢、便秘に注意しましょう。治療前々日に排便のないときには下剤を内服しましょう ●治療前日に入浴・洗髪をすませましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ●点滴中は安静を守りましょう。こんな時はナースコールを押して下さい ●点滴針が入っている所が痛い ●点滴がなくなった、止まってしまった ●いつもより咳が増えた ●点滴中にトイレへ行きたいとき 				<ul style="list-style-type: none"> ●体のだるさを感じたときは、ベッドで安静にしましょう 			<ul style="list-style-type: none"> ●つばを飲み込んだときにのどにつかえた感じや痛みを感じたらナースにお知らせ下さい 			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ●主治医がご本人、ご家族の方へ治療についての説明をします。都合のよい日時を教えてください。 ●ナースが入院中の生活と抗がん剤治療と放射線治療について説明します ●腎機能検査について説明します 											

※入院・治療に関して心配事がありましたら、お申し出下さい。この表はおおよその経過を表したものです。種々の都合により、予定通りにできないこともありますので、あらかじめご了承下さい。

抗がん剤治療と放射線治療を受けられる										
さまへ 治療法 シスプラチン+エトポシドと放射線治療 主治医:奥野 プライマリナーズ:稲田										
県立愛知病院呼吸器内科 6階病棟看護スタッフ										
月日	11日 /	12日 /	13・14 /・/	15日 /	16日 /	17日 /	18日 /	19日 /	20・21日 /・/	22日 /
治療と処置				<p style="text-align: center;">放 射 線 治 療 当 日</p>						<p style="text-align: center;">本日終了の予定です</p>
検査	<p>放射線治療当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ●放射線を胸にあてます。1日2回で、朝9時と午後3時です ●血液検査 ●1日1回、酸素を指で測ります 		<p>放射線治療当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ●放射線を胸にあてます。1日2回で、朝9時と午後3時です ●血液・尿検査 ●胸のレントゲン 		<p>放射線治療当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ●放射線を胸にあてます。1日2回で、朝9時と午後3時です ●血液検査 		<p>放射線治療当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ●放射線を胸にあてます。1日2回で、朝9時と午後3時です ●血液・尿検査 ●胸のレントゲン 			
食事と飲水	<p>●のどのつかえ感や痛みなどが出てきたら、やわらかいものや刺激の少ないもの、熱いものは冷ましてからお召し上がりください。お粥にも変更できますのでナースにお申しつけ下さい</p>									
排泄	<p>●排便の回数、性状を注意深く観察して下さい</p>									
体重	<p>●測定しましょう</p>									
注意点(副作用)	<p>●つばを飲み込んだときにのどにつかえた感じやしみる感じ、痛みを感じたら医師・ナースにお知らせ下さい</p> <p>●咳や痰が出たり、増えたり、または微熱が出ることがあります。症状のある方は医師・ナースにお知らせください</p>									
説明	<p>●白血球と血小板の値が減少する時期です。</p> <p>●よく手を洗い、うがいを行なってください。</p> <p>●生ものを避けてください。</p> <p>●排便後はシャワートイレを使って下さい。</p> <p>●はさみやひげそりの使用はおやめください。</p>					<p>脱毛が見られる方もみえます</p> <p>●放射線をあてている皮膚が赤くなり、かゆくなる場合があります。ナースにお見せください</p>				
						<p>2コース目に入る前に、1コース目の振り返りをナースと共に進みます</p> <p>次のページへ進みます</p>				

※入院・治療に関して心配事がありましたら、お申し出下さい。この表はおおよその経過を表したものです。種々の都合により、予定通りにできないこともありますので、あらかじめご了承下さい。

抗がん剤治療と放射線治療を受けられる 治療法 シスプラチン+エトポシドと放射線治療					さまへ 県立愛知病院呼吸器内科 6階病棟看護スタッフ		
主治医:		プライマリーナース:					
月 日	23日 /	24日 /	25日 /	26日 /	27日 /	28日 /	29日 /
治療 と 処置							2コース 目の抗がん剤治療 の予定で 
検査	●1日1回 酸素を指で 測ります		●血液検査 				●血液検査 ●尿検査 ●胸のレントゲン
食事 と 飲水	●制限ありません 						
排泄	●排便の回数 性状を注意 深く観察して 下さい 						
体重	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう	●測定しましょう
注意点 (副作用)	●咳や痰が出たり、増えたり、または微熱が出ることがあります。 症状のある方は医師・ナースにお知らせください 						●治療前日 に入浴・洗 髪をすませ ましょう
説明					2コース目に入る前に、 1コース目の振り返りを ナースと共に行ないます		 次のページ へ進みます

※入院・治療に関して心配事がありましたら、お申し出下さい。この表はおおよその経過を表したものです。
種々の都合により、予定通りにできないこともありますので、あらかじめご了承ください。

共通毒性基準

	0	1	2	3	4
P S	無症状で社会生活ができる発病前と同じ	軽度の症状、肉体的労働は制限を受けるが歩行、軽作業、座業はできる。	歩行や身の回りのことはできるが時に少し介助がいる。日中の50%以上起床	身の回りのことはある程度できるがしばしば介助がいり、日中の50%就床	身の回りのこともできず、常に介助がいり、終日就床を必要とする。
悪心	なし	食べられる	経口摂取の著明な減少	ほとんど経口摂取できず、静脈内補液が必要	-
嘔吐	なし	治療前と比べ24時間あたり1回多い	治療前と比べ24時間あたり2～5回多い	治療前と比べ24時間あたり6回以上多い。静脈内補液が必要	集中療法を要する生理的影響あり。循環動態性虚脱
食欲不振	なし	食欲がない	経口摂取の著明な減少	補液を要する	経管栄養または経静脈栄養を要する
味覚障害	なし	わずかに変化	著明な変化	-	-
発熱	なし	38.0-39.0℃	39.1-40.0℃	>40.0℃以上が<24時間持続する	>40.0℃が≥24時間持続する
感染	なし	軽症で積極的治療が不要	中等症の局所的感染局所療法または内服治療を要する	重症の全身性感染抗生物質や抗真菌剤の静脈的投与を要する	生命を脅かすような敗血症
全身倦怠感	なし	治療前より疲労が増すが日常生活には変化がない	中等症（P Sが1低下）または一部の日常生活が困難	重症（P Sが2以上低下）または一部の日常生活ができない	寝たきりまたは活動不能
下痢	なし	治療前と比べ排便回数増加は、1日4回未満	1日の排便回数が4～6回増加。または夜間排便	1日の排便回数が7回以上増加。または失禁脱水症状に対して静脈内補液が必要	集中療法を要する生理的影響あり。循環動態の虚脱
便秘	なし	便軟化剤または食事の工夫を要する	要緩和剤	摘便または浣腸を要する頑固な便秘	腸閉塞または中毒性巨大結腸
口内炎	なし	無痛性潰瘍、紅斑または病変を認めない軽度の疼痛	疼痛がある紅斑、浮腫、潰瘍、食事摂取可能	疼痛がある紅斑、浮腫潰瘍、補液点滴を要する	重症の潰瘍経管栄養、経静脈栄養を要す
食道炎	なし	軽度の嚥下困難だが通常の食事をとれる	嚥下困難。粥食や軟～流動食を要する	輸液や経管栄養を必要とする嚥下困難	完全閉塞（唾も飲みこめない）又は穿孔輸液や経管栄養必要
関節痛	なし	軽度で機能障害なし	中等度、疼痛又は鎮痛薬による機能障害がある。日常生活に支障なし	高度、疼痛又は鎮痛薬により、日常生活に高度な支障あり	活動不能
筋肉痛	なし	軽度で機能障害なし	中等度、疼痛又は鎮痛薬による機能障害がある。日常生活に支障なし	高度、疼痛又は鎮痛薬により、日常生活に高度な支障あり	活動不能

共通毒性基準

	0	1	2	3	4
浮腫	なし	症状はなく治療を要さない	症状があり治療を要する	機能を制限する症状を伴う浮腫。治療に反応しない、又は薬剤投与中止を要する	全身浮腫（重症の全身浮腫）
発疹	なし	関連症状がない斑点、丘疹又は紅斑	かゆみ又は他の症状を伴い全身の50%未満に及ぶ紅斑、丘疹又は限局性の落屑	症状のある全身性の紅斑、小斑又は丘疹、小水泡。あるいは全身の50%以上を占める落屑	全身性の剥脱性皮膚炎または潰瘍性皮膚炎
しびれ	なし	深部腱反射消失または知覚異常（打診痛含む）機能障害なし	他覚的な知覚消失または知覚異常（打診痛含む）機能障害はあるが日常生活に支障なし	日常生活に支障をきたす知覚消失または知覚異常	機能を障害する永久的な知覚消失
脱毛	なし	軽い脱毛	著名な脱毛	-	-
吃逆	なし	軽度で治療を要さない	中等度、治療を要する	重症、持続性がある治療が無効	-
注射部位の反応	なし	疼痛、かゆみがある又は紅斑	炎症又は静脈炎を伴う疼痛又は腫脹	重症又は持続性の潰瘍又は壊死又は手術を要する	-
呼吸困難（息切れ）	なし	-	労作時呼吸困難	通常の活動レベルでの呼吸困難	安静時の呼吸困難又は人工呼吸器を要する
不整脈	なし	症状はなく治療を要さない	症状はあるが治療を要さない	症状があり原因に対する治療が必要	生命を脅かす
白血球 / mm ³	3300~8400	<3300~3000	≥2000~<3000	≥1000~<2000	<1000
好中球 / mm ³	≥2000	≥1500~<2000	≥1000~<1500	≥500 ~<1000	<500
ヘモグロビン g/dl	M ~13.4 F ~11.2	<13.4~10.0 <11.2~10.0	8.0 ~<10.0	6.5 ~<8.0	<6.5
血小板 / mm ³	130,000 ~ 330,000	<130,000 ~75,000	≥50,000~<75,000	≥10,000~<50,000	<10,000
GOT IU/l	5 ~38	>38~95	>95~190	>190 ~760	>760
GPT IU/l	3 ~44	>44~110	>110 ~220	>220 ~880	>880
クレアチニン mg/ dl	M 0.66~ 1.07 F 0.45~ 0.81	>1.07~1.6 >0.81~1.21	>1.6 ~3.21 >1.21~2.43	>3.21~6.42 >2.43~4.86	>6.42 >4.86

II. 分担研究報告

2. 肺がん化学療法と化学療法・放射線療法併用療法のためのクリティカル・パス
近藤晴彦（静岡県立静岡がんセンター呼吸器外科）

平成 14 年度 厚生科学研究費補助金
効果的医療技術の確立推進臨床研究事業（がん分野）

肺がん標準治療のためのクリティカルパス作成に関する研究
分担報告書

分担研究者 近藤晴彦 静岡県立静岡がんセンター呼吸器外科部長

研究主旨

前年度は肺癌外科治療のクリティカルパス（CP）を作成したが、本年度はそれに加えて化学療法の CP を作成した。そして、電子カルテ上でこれらの CP を運用し、その実際上の作成過程や意義について検討した。

A. 研究項目

practice として行われている肺癌の標準的化学療法が、実際の診療においてクリティカルパス（以下 CP）の形で応用可能か、またその過程における問題点・意義などを検討した。

B. 研究方法

電子カルテを導入している静岡県立静岡がんセンター呼吸器科において、肺癌化学療法の CP を作成し、電子カルテに実装して運用した。

C. 研究結果

CBDCA+Paclitaxel、CDDP+CPT11、CDDP+Docetaxel, VP-16、CPT11 単剤、CDDP+VNR, GEM, VDS、GEM 単剤、VNR 単剤、PE(+RT)、weekly CBDCA+Paclitaxel-RT、TXT 単剤、の各標準的レジメンについて、CP を作成した。特に「患者への説明」の CP 作成に関しては、各レジメンにおける経過を説明するのに、医師（メディカルオンコロジスト）・看護師だけではなく、放射線治療医師、栄養室スタッフ、薬剤師など多職種での検討が必須であったが、化学療法 CP は電子カルテ上での運用が可能であった。

D. 考察

各 CP は、レジメンの実施に際して、電子カルテ上では、点滴・検査その他の指示が一括してオーダーできるだけでなく、抗がん剤の dose のチェック、投与当日の投与可否のチェックなどがシステムチックにできるように設計しており、リスクマネージメントの面からも有用であった。

また、患者のケアに関しては、複数職種間の共通の認識・連携が必須であるが、CP を作成する過程は、そのような連携を形成するのによい機会となった。

E. 結論

電子カルテ上の化学療法 CP は、医療の効率化や事故防止の点からも有用であるが、さらに、多職種チーム医療の推進にも有益であると考えられた。

F. 健康危険情報

特になし

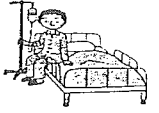









G. 研究発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

ペブシドとパラプラチンの抗がん剤治療と放射線治療を同時併用して受けられる方へ

日付	治療前	1週目: 初日	2日目	3日目	4~7日目
抗がん剤治療 (点滴)	担当医が治療全般の説明を行います 治療の方法、効果、副作用とその対策について説明します。 化学療法の説明書・同意書をお渡しします。 治療のスケジュールについて看護師が説明します	10時頃より、腕に血管に細くて柔らかいチューブを刺して点滴を始めます。本日は約5時間程かかります。点滴終了後、点滴チューブは抜かずにおきます。	10時頃より、前日と同じように点滴を始めます。本日は2時間程で終了します。点滴終了後は前日と同じように、点滴チューブは抜かずにおきます。	10時頃より、2日目と同じ点滴をします。副作用の状態に応じて点滴が終わったらチューブを抜きます。	
放射線治療	放射線治療医の診察があります放射線治療の効果、影響などについて説明します。放射線治療の説明書・同意書をお渡しします。 放射線治療の準備を行います 位置合わせのためのCTを撮影します。特殊なペンで皮膚に印をつけます。	本日より放射線治療を開始します	放射線治療を続けます		
治療の流れ	 1コースは4週間となっています。1コースが終了後に、2コース目に入ります。	抗がん剤の点滴 抗がん剤は初日から3日間行われます。抗がん剤の治療は4週ごとにおこなっていきます 次回は5週目の29日以降に点滴治療を行います。	放射線治療 月曜日～金曜日		
副作用		吐き気・嘔吐や食欲の低下がみられてくる時期です。可能な範囲で水分や食事をとって下さい。必要に応じて吐き気止めや点滴を追加します。体がだるくなることもあります。このような症状がありましたら、お知らせください。			
(内服)	今まで服用していた薬を看護師にお渡しください。治療中も続けて良いか確認します。				
検査		採血をすることがあります。 			採血・検尿をして頂きます。 
体重測定		本日、朝食前に体重測定をおこないます。 	* 毎週火曜日は体重測定日です		
検温		初日は1日2回、体温・血圧・脈拍を測定します。	⇒	⇒	本日より1日に1回測定して頂きます状態に応じて検温の回数が増えることがあります。
蓄尿	腎臓の機能をみるため、24時間尿を貯めていただきます。	本日10時より翌日10時まで尿を貯めていただきます。 			
食事	特に制限はありません。栄養のバランスのとれた食事を心がけましょう。		食事の時間にこだわらず、食べれそうなお食事をお摂り頂いてかまいません。		
清潔		抗がん剤治療期間中でも、入浴したり体を拭くことはできます。しかし体調不良時は無理をせず陰部だけでも清潔を保ちましょう。			
安静度		特に制限はありません。時間を決めて点滴をしますので、なるべくお部屋にいらして頂きます。抗がん剤が流れているときは病棟で過ごして頂きます。			
感染予防	* 食後の歯磨き * うがい * 手洗い	